

大型車の車輪脱落事故等調査票

事業者情報

1. 事業者情報	事業者名	
	営業所名	営業所
	営業所配置車両数	両
	整備管理者氏名(兼職者は兼職内容、外部委託者はその旨を記載)	
	自家整備工場(認証工場)の保有	☐ 無 (過去に保有していた 過去から保有なし) ☐ 有
2. 自社での車両メンテナンス状況	⑧トルクレンチの保有状況	◆トルクレンチ保有: ☐ 有 ☐ 無 ※有の場合は校正実施 ☐ 有 (年毎に実施) ☐ 無 ※校正実施無の場合: ☐ 知らない ☐ 知っているが実施していない (理由:)
4. タイヤ交換等への整備管理者の関与	①交換作業時	☐ 作業立ち会い ☐ 作業報告で確認 ☐ 関与していない ☐ その他 ()
	②増し締め作業時	☐ 作業立ち会い ☐ 作業報告で確認 ☐ 関与していない ☐ その他 ()
	③外注作業時	☐ 作業報告で確認 ☐ 関与していない ☐ その他 ()
5. 脱輪事故防止に関する社内教育	①タイヤ交換・ローテーション作業時において脱輪防止のため留意している事項	
	②上記の留意事項は社内ですべてのスタッフが知っているか。(複数選択可)	☐ 役員 ☐ 整備管理者 ☐ タイヤ交換者 ☐ 運転者 ☐ その他: ()
	③国土交通省から通知している脱輪防止対策の社内周知方法	☐ 周知していない ☐ 掲示、回覧で周知 ☐ 定例会議等で周知 ☐ その他: ()
	④脱輪事故防止対策の実行状況の把握方法	☐ 把握していない ☐ 作業員、運転者から報告させている ☐ 整備管理者が確認している ☐ その他 ()

6. 事故発生年月日	令和 年 月 日 時 分頃 当日の天候:	
7. 事故発生場所	発生地名: □ 一般道路(名称: _____) □ 高速道路又は自動車道(名称: _____)	
8. 事故車両概要	登録番号 車名 当日の積載物品名 総走行距離 _____ km	
	脱輪した箇所 □ 右側 □ 左側 □ 前輪(二軸の場合: □ 前々 □ 前後) □ 後輪(二軸以上の場合: □ 後前 □ 後中 □ 後々)	
	脱輪したタイヤの本数 □ 1本 □ 2本	
	脱輪の主な原因 □ ナットの緩み □ ボルトの折損 事故現場からのナットの回収状況 (□ 個回収 □ 見つからなかった □ 不明)	
	脱輪車輪以外の車輪のナットの緩みの有無 □ 有 □ 無 ※有の場合の緩みの箇所 □ 不明 □ 前右 □ 前左 □ 後右 □ 後左	
	ホイールの種類 □ アルミホイール □ スチールホイール	
	ホイールボルト・ナット方式 □ JIS方式 { □ アルミ用 □ スチール用 } □ ISO/新ISO方式 { □ アルミ用 □ スチール用 }	
	履き替え等からの走行距離 _____ km □ 不明	
	9. 事故概要	【概要】
		【損害の程度】 □ 無 □ 有 ⇒ □ 物損 □ 人身(死亡 人・重傷 人・軽傷 人)
10. メーカー等による車両見分	□ 実施 □ 未実施 令和 年 月 日	
11. 事故直近の車両点検、整備状況	[]か月点検 ●令和 年 月 日実施 ●実施者名:	
	臨時整備	●令和 年 月 日実施 ●実施者名:

12. 脱輪事故直近のタイヤ、ホイールの整備状況	タイヤ脱着作業の状況	◆直近の車輪脱着日: 令和 年 月 日
		◆作業内容:
		◆実施者:※実施者が複数の場合は、複数選択可 ☐ 自社(☐ 運転者 ☐ 整備管理者等 ☐ 自家整備工場) ☐ 外注(☐ タイヤショップ ☐ 整備工場 ☐ その他)
		◆使用工具:※複数選択可 ☐ インパクト ☐ トルクレンチ ☐ トルクセッター ☐ その他
		◆締め付けトルク: N・m ☐ 不明
		◆ホイールボルト・ナットの汚れの状況: ☐ 有 ☐ 少し有 ☐ 無 ☐ 不明
		◆ホイールボルト・ナットの錆の状況: ☐ 有 ☐ 少し有 ☐ 無 ☐ 不明
		◆作業時のホイールナットの回り具合: ☐ スムーズ ☐ 少し引っかかり有 ☐ 不明
		◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明
		◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※有の場合は具体的な清掃方法: ☐ ワイヤブラシ ☐ その他: ()
		◆ホイールボルトのねじ部の潤滑材塗布: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※潤滑剤の種類: ☐ メーカー指定品(名称:) ☐ 指定品以外(商品名:)
		◆事故防止通達に基づく作業管理表(外注は作業報告)の使用・管理: ☐ 有 ☐ 無
12. 脱輪事故直近のタイヤ、ホイールの整備状況	ホイールナット交換の有無	☐ 有 (☐ 直近の脱着時 ☐ 過去 年 月) ☐ 無 ☐ 不明
	脱輪事故当日の日常点検の実施状況	◆実施者名:※実施者が複数の場合は、複数選択可 ☐ 運転者 ☐ 整備管理者 ☐ 整備担当者 ☐ その他 ()
	※ホイールナットの締付状態の点検	◆実施時期: ☐ 運行前 ☐ 運行途中 ☐ 帰庫時 ※複数選択可
		◆実施方法: ☐ マーキング確認 ☐ 点検ハンマー ☐ トルクレンチ ☐ その他: ()
		◆目視確認の導入: ☐ 有 (☐ マーキング ☐ インジケーター等装着) ☐ 無
		◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用: ☐ 有 ☐ 無
	増し締めの実施 (50～100km走行後の増し締め)	☐ 実施 ☐ 未実施
		【実施の場合】
		◆実施時期: 交換後(km ・ 日) で実施
		◆実施者:※実施者が複数の場合は、複数選択可 ☐ 自社(☐ 運転者 ☐ 整備管理者等 ☐ 自家整備工場) ☐ 外注(☐ タイヤショップ ☐ 整備工場 ☐ その他)
		◆使用工具: ☐ インパクト ☐ トルクレンチ ☐ トルクセッター ☐ その他
		◆締め付けトルク: N・m ☐ 不明
◆増し締めの認知状況: ☐ 知っている ☐ 聞いたことはある ☐ 知らない		
◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理: ☐ 有 ☐ 無		
13. 補足事項等 (12. において、通常は実施しているが、事故車両については実施しなかった場合や、通常と異なる方法で実施したなどあれば理由等も含めて記載)		

	☐ 実施 ☐ 未実施 ◆実施の場合は実施状況
14. 事業者による原因調査の実施状況	
15. 推定原因	
16. 再発防止策	
推定原因の背後要因を記載	

大型車の車輪脱落事故等調査票

事業者情報

1. 事業者情報	事業者名	
	営業所名	営業所
	営業所住所	
	営業所配置車両数	両
	整備管理者氏名(兼職者は兼職内容、外部委託者はその旨を記載)	
	整備管理補助者選任の有無(有の場合は、氏名を記載)	☐ 無 ☐ 有 ()
	自家整備工場(認証工場)の保有	☐ 無 (過去に保有していた 過去から保有なし) ☐ 有
2. 自社での車両メンテナンス状況	①車両管理担当者	【氏名、役職等】【 、 】
	②車両管理責任者	【氏名、役職等】【 、 】
	③定期点検整備の実施状況	【3ヶ月点検】 ◆実施者: ☐ 自社 ☐ 整備工場 ☐ その他 () ※自社の場合は実施者役職: 【12ヶ月点検】 ◆実施者: ☐ 自社 ☐ 整備工場 ☐ その他 () ※自社の場合は実施者役職:
	④日常点検の実施状況等	◆実施者: ☐ 運転者 ☐ 整備管理者等 ☐ その他 () ※実施者が複数の場合は、複数選択可 ◆実施時期: ☐ 運行前 ☐ 運行途中 ☐ 帰庫時 ※複数選択可 ◆実施方法: ☐ マーキング等確認 ☐ 点検ハンマー ☐ トルクレンチ ☐ その他 () ◆目視確認の導入: ☐ 無 ☐ 有 (☐ マーキング ☐ インジケータ等装着) ◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用: ☐ 有 ☐ 無
	※ホイールナットの締付状態の点検状況	
	⑤自社でのタイヤ交換・ローテーション等の実施状況	◆実施者: ☐ 自社 (☐ 運転者 ☐ 整備管理者等 ☐ 自家整備工場) ☐ 外注 (☐ タイヤショップ ☐ 整備工場 ☐ その他) ※実施者が複数の場合は複数選択可。外注の場合は【3】も記入 ◆使用工具: ※複数選択可 ☐ インパクト ☐ トルクレンチ ☐ トルクセッター ☐ その他 ◆締め付けトルク: N・m ☐ 不明 ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※有の場合は具体的な清掃方法: ☐ ワイヤブラシ ☐ その他: () ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑材塗布: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※潤滑剤の種類: ☐ メーカー指定品(名称:) ☐ 指定品以外(名称:) ◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理: ☐ 有 ☐ 無
	⑥増し締めの実施(50～100km走行後の増し締め)	☐ 実施 ☐ 緩みがあれば実施 ☐ 未実施 【実施の場合】 ◆実施時期: ☐ 交換後 (km ・ 日) で実施 ☐ 帰庫時に実施 ※複数選択可 ◆実施者: ☐ 自社 (☐ 運転者 ☐ 整備管理者等 ☐ 自家整備工場) ☐ 外注 (☐ タイヤショップ ☐ 整備工場 ☐ その他) ※実施者が複数の場合は複数選択可。外注の場合は【3】も記入 ◆使用工具: ☐ インパクト ☐ トルクレンチ ☐ トルクセッター ☐ その他 ◆締め付けトルク: N・m ☐ 不明 ◆増し締めの認知状況: ☐ 知っている ☐ 聞いたことはある ☐ 知らない ◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理: ☐ 有 ☐ 無

	⑦ホイール・ボルト、ナットの交換基準	☐ 定めていない ☐ 定めている(交換頻度 年毎)
	⑧トルクレンチの保有状況	◆トルクレンチ保有: ☐ 有 ☐ 無 ※有の場合は校正実施: ☐ 有(年毎に実施) ☐ 無 ※校正実施無の場合: ☐ 知らない ☐ 知っているが実施していない (理由:)
3. 外注による車両メンテナンス状況	外注によるタイヤ交換・ローテーション等の実施状況 【外注している場合のみ記入】	◆実施事業者名: ◆トルクレンチ保有: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※有の場合は外注先のトルクレンチ校正状況: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ◆使用工具: ※複数選択可 ☐ インパクト ☐ トルクレンチ ☐ トルクセッター ☐ その他 ◆締め付けトルク: N・m ☐ 不明 ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※有の場合は具体的な清掃方法: ☐ ワイヤブラシ ☐ その他: () ◆ホイールボルトのねじ部の潤滑材塗布: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※潤滑剤の種類: ☐ メーカー指定品(名称:) ☐ 指定品以外(商品名:) ◆ホイールボルトやナットの交換基準: ☐ 有 ☐ 必要に応じて交換 ☐ 特になし ◆ホイールボルトやナットの交換状況: ☐ 必ず交換 ☐ 交換を勧められる ☐ 特になし ◆外注先からの増し締めアドバイス: ☐ 受けている ☐ 受けていない ☐ 不明 ◆外注先からの作業報告: ☐ 有 ☐ 無
4. タイヤ交換等への整備管理者の関与	①交換作業時	☐ 作業立ち会い ☐ 作業報告で確認 ☐ 関与していない ☐ その他 ()
	②増し締め作業時	☐ 作業立ち会い ☐ 作業報告で確認 ☐ 関与していない ☐ その他 ()
	③外注作業時	☐ 作業報告で確認 ☐ 関与していない ☐ その他 ()
5. 脱輪事故防止に関する社内教育	①タイヤ交換・ローテーション作業時において脱輪防止のため留意している事項	
	②上記の留意事項は社内で誰が知っているか。(複数選択可)	☐ 役員 ☐ 整備管理者 ☐ タイヤ交換者 ☐ 運転者 ☐ その他: ()
	③国土交通省から通知している脱輪防止対策の社内周知方法	☐ 周知していない ☐ 掲示、回覧で周知 ☐ 定例会議等で周知 ☐ その他: ()
	③脱輪事故防止対策の実行状況の把握方法	☐ 把握していない ☐ 作業、運転者から報告させている ☐ 整備管理者が確認している ☐ その他()

6. 事故発生年月日	令和	年	月	日	時	分頃	当日の天候:
7. 事故発生場所	発生地名: ☐ 一般道路(名称:) ☐ 高速道路又は自動車道(名称:)						
8. 事故車両概要	登録番号						
	車名						
	当日の積載物品名						
	総走行距離		km				
	脱輪した箇所		☐ 右側 ☐ 左側 ☐ 前輪(二軸の場合: ☐ 前々 ☐ 前後) ☐ 後輪(二軸以上の場合: ☐ 後前 ☐ 後中 ☐ 後々)				
	脱輪したタイヤの本数		☐ 1本 ☐ 2本				
	脱輪の主な原因		☐ ナットの緩み ☐ ボルトの折損 事故現場からのナットの回収状況 (☐ 個回収 ☐ 見つからなかった ☐ 不明)				
	脱輪車輪以外の車輪のナットの緩みの有無		☐ 有 ☐ 無 ※有の場合の緩みの箇所 ☐ 不明 ☐ 前右 ☐ 前左 ☐ 後右 ☐ 後左				
	ホイールの種類		☐ アルミホイール ☐ スチールホイール				
	ホイールボルト・ナット方式		☐ JIS方式 { ☐ アルミ用 ☐ スチール用 } ☐ ISO/新ISO方式 { ☐ アルミ用 ☐ スチール用 }				
	履き替え等からの走行距離		km ☐ 不明				
	9. 事故概要	【概要】					
【事故当日の運行経路】							
【運転者の口述概要】							
【車輪脱着作業実施者等の口述概要】							
【損害の程度】 ☐ 無 ☐ 有 ⇒ ☐ 物損 ☐ 人身(死亡 人・重傷 人・軽傷 人)							
10. メーカー等による車両見分があれば記載	☐ 実施 ☐ 未実施	令和 年 月 日					
11. 事故直近の車両点検、整備状況	[]か月点検	●令和 年 月 日実施 ●実施者名:					
	臨時整備	●令和 年 月 日実施 ●実施者名:					

12. 脱輪事故直近のタイヤ、ホイールの整備状況	タイヤ脱着作業の状況	◆直近の車輪脱着日: 令和 年 月 日
		◆作業内容:
		◆実施者:※実施者が複数の場合は、複数選択可 ☐ 自社(☐ 運転者 ☐ 整備管理者等 ☐ 自家整備工場) ☐ 外注(☐ タイヤショップ ☐ 整備工場 ☐ その他)
		◆使用工具:※複数選択可 ☐ インパクト ☐ トルクレンチ ☐ トルクセッター ☐ その他
		◆締め付けトルク: N・m ☐ 不明
		◆ホイールボルト・ナットの汚れの状況: ☐ 有 ☐ 少し有 ☐ 無 ☐ 不明
		◆ホイールボルト・ナットの錆の状況: ☐ 有 ☐ 少し有 ☐ 無 ☐ 不明
		◆作業時のホイールナットの回り具合: ☐ スムーズ ☐ 少し引っかかり有 ☐ 不明
		◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の点検実施: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明
		◆ホイールボルトのねじ部及びナット部の清掃実施: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※有の場合は具体的な清掃方法: ☐ ワイヤブラシ ☐ その他: ()
		◆ホイールボルトのねじ部の潤滑材塗布: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ◆ホイールナットとワッシャーの間の潤滑剤塗布: ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明 ※潤滑剤の種類: ☐ メーカー指定品(名称:) ☐ 指定品以外(商品名:)
		◆事故防止通達に基づく作業管理表(外注は作業報告)の使用・管理: ☐ 有 ☐ 無
12. 脱輪事故直近のタイヤ、ホイールの整備状況	ホイールナット交換の有無	☐ 有 (☐ 直近の脱着時 ☐ 過去 年 月) ☐ 無 ☐ 不明
	脱輪事故当日の日常点検の実施状況	◆実施者名:※実施者が複数の場合は、複数選択可 ☐ 運転者 ☐ 整備管理者 ☐ 整備担当者 ☐ その他 ()
		◆実施時期: ☐ 運行前 ☐ 運行途中 ☐ 帰庫時 ※複数選択可
	※ホイールナットの締付状態の点検	◆実施方法: ☐ マーキング確認 ☐ 点検ハンマー ☐ トルクレンチ ☐ その他: ()
		◆目視確認の導入: ☐ 有 (☐ マーキング ☐ インジケーター等装着) ☐ 無
	増し締めの実施 (50～100km走行後の増し締め)	◆事故防止通達に基づく日常点検表の使用: ☐ 有 ☐ 無
		☐ 実施 ☐ 未実施
		【実施の場合】
		◆実施時期: 交換後(km ・ 日) で実施
		◆実施者:※実施者が複数の場合は、複数選択可 ☐ 自社(☐ 運転者 ☐ 整備管理者等 ☐ 自家整備工場) ☐ 外注(☐ タイヤショップ ☐ 整備工場 ☐ その他)
		◆使用工具: ☐ インパクト ☐ トルクレンチ ☐ トルクセッター ☐ その他
		◆締め付けトルク: N・m ☐ 不明
増し締めの認知状況: ☐ 知っている ☐ 聞いたことはある ☐ 知らない		
	◆事故防止通達に基づく作業管理表の使用・管理: ☐ 有 ☐ 無	
13. 補足事項等 (12. において、通常は実施しているが、事故車両については実施しなかった場合や、通常と異なる方法で実施したなどがあれば理由等も含めて記載)		

	☐ 実施 ☐ 未実施 ◆実施の場合は実施状況
14. 事業者による原因調査の実施状況	
15. 推定原因	
16. 再発防止策	
推定原因の背後要因を記載	